



JA新しいわたの自己改革

もっと知ろう、JAの取り組み

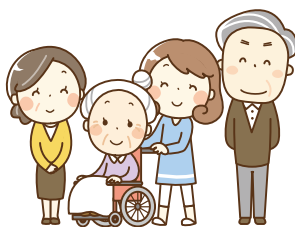
JA新しいわたの「農家所得の増大」や「地域の活性化」に向けた取り組みを紹介。今月は「地域を元気にする」取り組みを紹介します。

Q.JAは地域にとってどんな存在なの？

■地域の食やインフラ機能を支え、地域を元気にします。

JAは営農・経済事業（生産資材の共同購入や生産物の共同販売）を通じて、組合員である農業者の所得の向上や農業生産の拡大を進めています。

また、くらしの願いやニーズに対応した信用、共済、生活購買、厚生（健康）、旅行、介護などさまざまな事業を行っています（生活インフラ機能）。



そして、食農教育や組合員・地域住民の交流活動、高齢者福祉活動、直売所の運営などにも取り組んでいます（地域コミュニティの活性化）。これらの取り組みは、組合員の願いやニーズを叶えるとともに、食と農を通じて地域を豊かに、そして元気にする取り組みです。

JAは、地域に根ざした協同組合として、組合員だけではなく地域住民が必要とするくらしに関わる事業を総合的に提供しています。地域になくてはならない協同組合として、地域を支えるインフラ機能を発揮しています。

■JAは、組合員・地域住民の思い・ニーズを叶えるため、くらしの活動に取り組んでいます。



▼女性大学

管内の女性を対象に「食と農」「くらし」「文化」などの学習を通じて、心豊かなくらしと地域づくりを目指すため、さまざまな教室を開催。

▲JAまつり

組合員の交流や地域の方々への感謝を込めて、さまざまなイベントを各地で開催しています。



▼食農教育活動

農家組合、JA女性部、JA青年部の協力のもと保育所や小学校を対象に「食農活動」に取り組んでいます。

▲離乳食教室

子育て支援として、講義、調理実習を交えて開催。



女性大学 参加者の声



やまもと みゆき

山本美幸さん(二戸市・左)

しもだて いこ

下田貞子さん(二戸市・右)

女性大学は、どの講座も興味はありましたが、きっかけがなく出来なかったものばかりで、とても勉強になり良い経験ができました。JAのイベントは自分には関係ないと思っていましたが、今回初めて参加してみて誰でも参加できる事が分かりました。これからも積極的に参加したいですね。